

第187回
産学交流
サロン&
マッチング会

“次世代介護・福祉製品”の 創出を目指して

横浜発



～いまこそ横浜の英知を結集しよう～

高齢化の進行がますます加速していく中、「高齢者や障害者が不便なく、出来るだけ自立して生き生きと暮らせるように、また介護者・介助者の負担がもっと軽減できるように・・・」。介護・福祉関連現場の方々、横浜市内のものづくり企業や優れたIT、ソフト関連の技術を「有する企業などの皆様の英知を結集して「横浜発次世代介護・福祉製品等を創出するための第一歩」をいま、踏み出します。

前半は「講演と話題提供」、後半は「個別面談会（要事前申込）」の2本立てで、本分野で百戦錬磨の大先輩諸氏から有効なアドバイス等がいただけるのではと思います。

日時

平成24年12月3日（月）
14:00～17:15

参加費
無料

場所

横浜市総合リハビリテーションセンター
1階ホール
横浜市港北区鳥山町1770 TEL: 045-473-0666
<http://www.yokohama-rf.jp/>



講演 14:05～15:05

横浜市総合リハビリテーションセンター
地域リハビリテーション部 担当部長 研究開発課課長

飯島 浩氏

リハビリテーションの現場 における技術ニーズと機器開 発のシステム

当リハセンターの利用者一人一人に福祉機器を適合・供給する臨床工学サービス事業を紹介。この事業で蓄積してきた福祉機器適合のノウハウを基に企業・大学との機器共同開発・臨床評価事業を構築。本福祉機器共同開発・臨床評価事業のシステムを紹介（専門相談・試用評価・臨床評価・共同開発）し、その成果について具体的な分野や開発機器を紹介する。本システムの効果、今後の課題と展望について報告する。

話題提供 1 15:05～15:35

(有)木村義肢工作研究所 常務取締役

東城 嘉夫氏

介護・福祉用具ビジネス参入の キーワード

製造・販売している製品の使用素材や制作方法からのキーワード及び今後の改善・開発に関してからのキーワード

話題提供 2 15:35～16:05

(株)ハーツエイコー 代表取締役

浅井 悦男氏

障害者・高齢者向け福祉機器 の開発及び製品としての課題

当社製品（こまわりさん・もちあげくん）の開発の経緯、製品の選定時における利用者のアセスメントの重要性及び製品の今後の課題

個別面談 16:15~17:15

Aコース

Bコース

面談希望企業（事前申込み制）と
横リハ研究開発者との個別相談
（面談時間・20Min/1社 程度）

面談希望企業（事前申込み制）と
話題提供の2企業との個別相談
（面談時間・20Min/1社 程度）

お問
合せ
先

経営支援部技術支援課 TEL:045-225-3733

FAX:045-225-3738

HPはこちら→→<http://www.idec.or.jp>

主 催：公益財団法人横浜企業経営支援財団
社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団



【参加申込】 下記の2件についてご検討下さい

第187回 産学交流サロン講演会 参加申込書

氏名（ふりがな） _____ 所属・役職名 _____

企業名 _____

事業内容 _____

所在地〒 _____

TEL

FAX

E-Mail

個別面談会 参加申込書

各コース先着3社まで。A・B両コースの申込みは不可

☆ Aコース（横リハメンバーとの面談）
面談を希望する 【 】

☆ Bコース（話題提供企業との面談）
（有）木村義肢工作研究所 【 】
（株）ハーツエイコー 【 】

（※運営側で時間調整し、正式に決定した時間を
後日ご連絡致します。）

希望時間	16:15~	16:35~	16:55~
○をつけて ください			

希望時間	16:15~	16:35~	16:55~
○をつけて ください			